

早稲田実業高等部 1 年 2025 年度

英語コミュニケーション 1 前期末試験

～ 概要～

	試験時間	分
		設問概要
		形式 目標解答時間
新ユメタン 1 Units 1-4	A	単語問題（選択形式）
	B	空欄補充問題（単語選択形式）
ELEMENT Lesson 2	C	英文挿入問題（選択形式）
	D	空欄補充問題（単語選択形式）
	E	語の活用
	F	整序問題
	G	整序問題
ELEMENT Lesson 3	H	アクセント（選択問題）
	I	和文英訳
	J	前置詞の空欄補充
	K	整序問題
	L	整序問題
	M	単語挿入問題
	N	誤文訂正問題
	O	空所補充問題（選択問題）
前期中間試験 の復習	P	品詞の種類（選択問題）
	Q	文型（選択問題）

	R	to 不定詞の用法（選択問題）
TOEFL 形式 実力問題	S	出題パターンの分類
	T	整序問題
	U	長文読解（選択問題）

～ [A] 単語問題（選択形式）～

✓ **形式**

： 単語が一語ずつ提示されそれに適した日本語の意味を 4 つの選択肢から一つ選ぶ。

✓ **問題数**

： 15 問。

✓ **配点**

： 各 1 点、計 15 点。

✓ **ポイント**

： 新ユメタン 1 Units1-4 から英単語は出題されている。単語番号から推測するに出題範囲が広い
ため、意味をしっかりと覚えるのはもちろんのこと、接頭語・語幹・接尾辞から意味を推測できるよ
うに。

～ [B] 空欄補充問題（単語選択形式）～

✓ **形式**

： 英文段落が 3 つ与えられ、それぞれの空欄に適した英単語を語群から選ぶ。

✓ **問題数**

： 10 問。

✓ **配点**

： 各 1 点、計 10 点。

✓ **ポイント**

： 場面に応じた単語の理解と選択が求められる。例えば、1 段落目の trash(ゴミ)・garbage(ゴミ)・
sweep (掃く)・wipe(拭く)や 2 段落目の election(選挙)・candidate(候補者)と一つの場面から単語を

紐づけて覚えることで、より実践的に単語を理解し運用できる。

また前後の文脈から空欄の品詞やニュアンスが分かるので、他の選択肢を除くことができる。

～ [C] 英文挿入問題（選択形式）～

✓ **形式**

：2つの英文と英文2段落が与えられる。英文中には8つの選択肢があり、与えられた英文2文をそれぞれ適した選択肢の部分に挿入する。

✓ **問題数**

：2問。

✓ **配点**

：各1点、計2点。

✓ **ポイント**

：①与えられた英文2段落を読み、起承転結を理解する。

②挿入する2文を読み、文章の起承転結の中のどこに分類されるかを考える。

③どの段落に挿入されるかを理解したうえで、選択肢の前後の文脈からふさわしい箇所を選ぶ。

例えば、一文目の *He (lion) was cute but looked very sad.* に関しては、

選択肢ア・イは、挿入する文の対象とされるライオンが文章中にまだ登場していないため不適。

選択肢ウの後に続く、*They felt sorry for him because-* が挿入する文をさらに詳しく説明しているため、ウが適切。

選択肢エは、前の *Let's buy him.* と挿入する文の関係が矛盾。

ゆえに、選択肢ウが適切な箇所と判断できる。

～ [D] 空欄補充問題（単語選択形式）～

✓ **形式**

：英文の空欄にふさわしい語を4つの選択肢から選択する。

✓ **問題数**

：6問。

✓ **配点**

：各 1 点 計 6 点。

✓ **ポイント**

：問題 1・2 に関しては、慣用句表現を理解する。

Set free=解放・in surprise=驚いて (by surprise=不意に)

問題 3～6 は、文法問題。

3 は、時制の一致より Would が答えとなる。

(Will=現在からみた未来、Would=過去から見た未来)

4 ここでは「～で着用されている (受け身)」の形容詞文法。

ゆえに、Worn (Wear の過去分詞) がふさわしい

5 not ~ without ~は、「～しない日はない」という表現の決まり文句。

6 現在進行形+「since+過去の時点」の形。

(選択肢イは、since の後に期間がきているため文法的に誤っている。)

～ [E] 語の活用～

✓ **形式**

：英文中の括弧内の英単語を活用・品詞を変えるなどして適切な形に直す。

✓ **問題数**

：3 問。

✓ **配点**

：各 1 点 計 3 点。

✓ **ポイント**

：①感情を表す形容詞の-ed/-ing の使い分け

-ed=感情を表している側

-ing=感情を引き起こす側

②動詞を修飾する副詞

括弧内の語は、前の**動詞**を修飾しているため、括弧内は副詞の形に。

ゆえに happily

③名詞から動詞への派生語

food と feed(餌をやる)

～ [F] 整序問題～

✓ 形式

：和文と英文が与えられ、和文の意味に合うように、下線部の単語を並べ替える。

✓ 問題数

：2問。

✓ 配点

：各1点、計2点。

✓ ポイント

：意味のかたまりごとに順番を決める。

慣用句表現を知っているか。

(この問題の場合は、*be on good/bad terms with*= 「～と仲が良い・悪い」)

不要語の見抜き方

(特にこの問題の場合は、*developed countries* と *developing countries* を判別できるか
developed countries= 先進国、*developing countries*= 発展途上国)

～ [G] 整序問題～

✓ 形式

：日本語の意味に合うように、与えられた5つの語句を並び替える。

✓ 問題数

：2問。

✓ 配点

：各1点、計2点。

✓ ポイント

：1問目

①誰の話か？

The girl sitting on her mother's knee (お母さんの膝に座っている女の子)

②be 動詞＋形容詞

Is cute

③付加疑問文を文頭に

2問目

A is one thing, but B is another= 「A と B は別物」という表現の決まり文句。

～ [H] アクセント（選択問題）～

✓ **形式**

：単語とそれが複数部分に分けられた選択肢が与えられ、強く読む音節を選ぶ。

✓ **問題数**

：4 問。

✓ **配点**

：各 1 点、計 4 点。

✓ **ポイント**

：出題されている単語を頭の中で発音し、強く発音する部分を考える。
また-icant や-tion、-cial、-tial など単語の種類を意識し、
同じ種類の単語がどのように発音されるかを考える。

～ [I]和文英訳～

✓ **形式**

：英文中の日本語にあたる単語をそれぞれの語数の条件に満たした英語で書きとる。

✓ **問題数**

：5 問。

✓ **配点**

：各 1 点、計 5 点。

✓ **ポイント**

：おそらく授業内で扱った教科書の英文から出題されているので、教科書を要復習。

～ [J] 前置詞の空欄補充～

✓ **形式**

：英文中の括弧に適した前置詞を入れる。

✓ **問題数**

：3 問。

✓ **配点**

：各1点、計3点

✓ **ポイント**

：それぞれの文章で、前置詞がかかっている対象が違うので、それらに適したものを考える。

- ① 日付や曜日の前には on を使う。
- ② 「～ まで減らす」は *reduce by*+ 数値
- ③ 「～のなかの一人」 *among*～

～ [K] 整序問題～

✓ **形式**

：英文中の下線部を並び替え、英文を成立させる。

✓ **問題数**

：4問。

✓ **配点**

：各1点、計4点

✓ **ポイント**

- ：① *Put a ban on*～= 「～を禁止する」
- ② *Come up with*～= 「～を思いつく」
- ③ *No more*～= 「もう～はない」
- ④ *Too* 形容詞 *to* 動詞= 「～すぎて～」

決まり文句、熟語表現を理解することで得点力アップ。

～ [L] 整序問題～

✓ **形式**

：教科書の内容に合うように単語を並び替え、正しい文章を作成する。

✓ **問題数**

：3問

✓ **配点**

：各1点、計3点

✓ **ポイント**

：不要な語が含まれている問題があるため、どの単語を使うべきかを吟味する必要がある。また、並

び替えにおいて出題されている文法事項、用法が何かを抑えておく必要がある。

1 問目：not、just、but 等の単語が並んでいることから、not just ～ but (also) ～が使われていることがわかる。本用法は、not (only) A but (also) B で用いられることもある。

2 問目：主語は、the sisters を指す they のみであり、初めにくるのは they だと確定する。動詞を確認すると、be 動詞の were、一般動詞の allowed、let、collect 等が見つかる。他の選択肢に to があることから、to の後に来られる動詞（現在形のみ）は let 又は collect。They were allowed to まで確定する。Signatures は署名を意味するため、signatures の前にくる単語は collect が正しい。よって、They were allowed to collect となる。今回は、受け身の文法が理解できていれば解ける。

3 問目：本問題は、選択肢の中に spend と spent が存在するため、恐らくどちらかを選ぶ必要がないことが推測できる。その上で、空欄の前にある disagreed に注目する。Disagreed の後ろには to や with といった前置詞がくっつくことがあるが、それらがいない場合には文章がくっつく。主語として使えるのは the collected taxes のみ。その他、助動詞の should、be 動詞の be、一般動詞の spend、spent がある。動詞をつなぎ合わせると、should be spent(spend の過去分詞形)となる。これに s 主語、how、on を付けたし、how the collected taxes should be spent on となる。

～ [M] 単語挿入問題～

✓ **形式**

：文章から抜かれた 5 つの単語を文中の正しい位置に戻したとき、その前後の単語が何かを答える問題。

✓ **問題数**

：5 問

✓ **配点**

：各 1 点、計 5 点

✓ **ポイント**

：わかりやすいヒントなどはなく、選択肢の順番と正しい位置の順番もバラバラなため、難易度の高い問題である。単語の抜けた位置を見つける判断基準には、熟語表現や文法的なものだけでなく、文脈的なものも含まれるため、内容を理解しながら全文をしっかりと読む必要がある。文法力から語彙力、読解力まで幅広い力が試される。

～ [N] 誤文訂正問題～

✓ **形式**

： 英文から文法的な誤りのある箇所を見つけ、正しい形に変える問題。

✓ **問題数**

： 2 問

✓ **配点**

： 各完答 1 点、計 2 点

✓ **ポイント**

：動詞の用法に関する文法から出題。いずれの問題も、文中で使われている動詞に対応する前置詞に誤りがあった。ただ誤っている箇所を見つけるだけでなく、本来の適切な形に直すところまで出来て初めて点数がもらえるので、動詞の用法についての深い理解が必要とされる。

～ [O] 空所補充問題（選択問題）～

✓ **形式**

： それぞれの英文が表している内容を日本語文から把握し、()の中に入る文法的・内容的に正しい表現を選択する問題。

✓ **問題数**

： 4 問

✓ **配点**

： 各 1 点、計 4 点

✓ **ポイント**

：いずれの問題でも、英語の熟語表現に関して問われた。まずは日本語文に対して内容的に正しくなるような熟語表現を把握し、そのうえでさらに文法的にも正しい形となっている表現を選択する必要がある。強調構文を用いた間接疑問文など、かなり高度な文法事項も問われた。単に熟語表現の意味を覚えるだけでなく、各熟語表現に対する文法的な知識も頭に入れておく必要がある。

～ [P] 品詞の種類（選択問題）～

✓ **形式**

： 英文が 5 つ与えられ、各文に対して 3 つある下線部の品詞をそれぞれ選択肢の中から選ぶ問題。

✓ **問題数**

： 5 問

✓ **配点**

：各完答 1 点、計 5 点

✓ **ポイント**

：各単語が文中でどの品詞として使われているかを問われる。名詞・副詞・冠詞・形容詞・代名詞・前置詞・動詞・接続詞・助動詞・間投詞・疑問詞といった幅広い選択肢の中から適切に選ぶ必要がある。個々の難易度は高くないが、各文に対して下線部を 3 つともすべて正解しないと点はもらえないので、とにかくミスをしていないことが求められる。

～ [Q] 文型（選択問題）～

✓ **形式**

：英文が 5 つ与えられ、文中の下線部がそれぞれ主語・動詞・目的語・補語・修飾語のどれに当たるかを選択する。

✓ **問題数**

：5 問

✓ **配点**

：各完答 1 点、計 5 点

✓ **ポイント**

：英文を分解したときに各構成要素が何の働きをしているのかについて問われる。定番の主語・動詞・目的語・補語に加えて、普段あまり問われない修飾語についても出題されるため、第 1 文型～第 5 文型までの基本 5 文型をしっかりと頭に入れておく必要がある。また、各文に対して 4 つまたは 5 つある下線部をすべて正解しないと点はもらえないので、ミスをしていないことが求められる。

～ [R] to 不定詞の用法（選択問題）～

✓ **形式**

：英文が 4 つ与えられ、下線部の to 不定詞の表現について名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法・to 不定詞ではないもののいずれかから正しいものを選ぶ。

✓ **問題数**

：4 問

✓ **配点**

：各 1 点、計 4 点

✓ **ポイント**

：to 不定詞の各文中における用法が問われる。各 to 不定詞が文中でどの部分にかかっているのかを見抜くことがポイント。また、to 不定詞の基本の用法 3 つに加えて、選択肢には”to 不定詞ではないもの”もダミーとして用意されており、to 不定詞についてのしっかりとした理解が必要とされる。

～ [S] 出題パターンの分類 ～

✓ **形式**

： TOEFL Reading でよく見られる問題文の例が与えられ、それぞれどの出題パターンの問題なのかをテーマ・内容一致・内容不一致・推測・レトリック・同意語・指示語のいずれかから正しいものを選ぶ。

✓ **問題数**

：5 問

✓ **配点**

：各 1 点、計 5 点

✓ **ポイント**

：TOEFL Reading における「7 つの出題パターン」について把握しておく必要がある。与えられる問題文の例にはそれぞれ”except”や”inferred”、”main topic”などの決定的なヒントとなる表現が用いられているので、これらを見つけることがポイントとなる。

～ [T] 整序問題 ～

✓ **形式**

： 文章の最初と最後の段落が与えられ、これらの間に入る 3 つの段落を適切に並べ替える問題。

✓ **問題数**

：1 問

✓ **配点**

：完答 3 点

✓ **ポイント**

：内容が適切につながるように段落を並べ替えるため、各段落を正しく読解する必要がある。また、内容の理解に加えて、”after”や”the”などの前後関係の決め手となる表現に注目することが重要。

～ [U] 長文読解（選択問題）～

✓ **形式**

： TOEFL 形式の問題。6 段落分の文章が与えられ、内容に関しての選択問題 8 問に答える。

- 1) 文章全体のテーマを選ぶ問題
- 2) 文章中の指示語が何を指すかを選ぶ問題
- 3) 段落についての内容一致問題
- 4) 文章中の単語に最も意味が近いものを選ぶ同意語問題
- 5) 段落についての内容不一致問題
- 6) 筆者が特定の内容に言及した意図を選ぶレトリック問題
- 7) 段落の内容から推測できることを選ぶ問題
- 8) 文章全体から読み取れることを選ぶ問題

✓ **問題数**

： 8 問

✓ **配点**

： 各 1 点、計 8 点

✓ **ポイント**

：初見の長文に対して正しく内容を理解する、高度な読解力が必要となる。初見の文章であるため事前に何の単語が登場するのかわからないので、普段から語彙力をつけておく必要がある。また、TOEFL Reading 形式で各設問の問題文も英語であるので、[S]でも登場した「7つの出題パターン」に基づいてそれぞれ何が問われているのか判断する力も試される。

～ 総評～

✓ **対策ポイント**

：ユメタンと ELEMENT を徹底的に学習しておくことが必要。

：中間試験の復習も分量が多いため、前回のテストで学習したことを忘れず身に付けておくことも重要。

：初見の文章に取り組む実力問題もあるため、教材にとらわれない読解力・語彙力をつけることが高得点のカギとなる。

：記述問題は少なく選択問題が中心だが、完答で点数を与える問題が度々見受けられるので、ミスを重ねないことが重要。

：試験時間に対して問題数が多いので、素早く問題をこなしていくことが必要。

✓ **傾向と対策**

：ELEMENT で学習した長文を頭に入れておき、悩むことなくスラスラと解けるようにしておく。

⇒インターTOMAS では

個別指導での**スラッシュリーディング**を重ねることで、長文を英語のまま理解できるまで**インプット・アウトプット**を繰り返します。

：初見の長文に対しても使えるゆるぎない英語力を身につけ、実力問題で点数に差をつけられるようにしておく。

⇒インターTOMAS では

加圧式音読グループレッスンで様々な英文に触れることで、広く英語の表現に慣れ長文への苦手意識をなくします。また、**毎日の英検単語テスト**で**語彙力**を強化します。